

## ⑫ 公開特許公報 (A)

平3-66689

⑬ Int. Cl. 5

C 07 D 471/04  
A 01 N 43/90  
C 07 D 471/04

識別記号

117 N  
105  
Z

府内整理番号

8829-4C  
8930-4H  
8829-4C※

⑭ 公開 平成3年(1991)3月22日

審査請求 未請求 請求項の数 11 (全29頁)

⑮ 発明の名称 ピリドピリミジン誘導体

⑯ 特願 平2-201061

⑰ 出願 平2(1990)7月27日

優先権主張

⑱ 1989年7月27日⑲ 米国(U S)⑳ 385840

㉑ 発明者

ロナルド・アービン・

アメリカ合衆国インディアナ46226、インディアナボリス、ホークス・ポイント・ロード5234番

ハツクラー

㉒ 発明者

グレン・フィル・ジョ

アメリカ合衆国インディアナ46161、モーリスタウン、アール・アール・ナンバー1・ボックス・74ビー(番地の表示なし)

ーダン

㉓ 出願人

イーライ・リリー・アンド・カンパニー

アメリカ合衆国46285インディアナ州 インディアナボリス市、リリー・コーポレイト・センター(番地の表示なし)

㉔ 代理人

弁理士 青山 葦

外1名

最終頁に続く

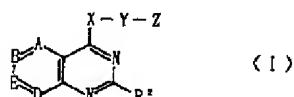
## 明細書

## 1. 発明の名称

ピリドピリミジン誘導体

## 2. 特許請求の範囲

## 1. 式(I):



で示されるピリドピリミジン誘導体、またはその酸付加塩：

[式中、A、B、EおよびDのうち1つまたは2つはN、他はCR¹であるか、またはA、EおよびDはN、BはCR¹であり、

R¹およびR²はそれぞれ独立してH、ハロゲン、(C₁~C₄)アルキル、分枝鎖状(C₁~C₄)アルキル、(C₁~C₄)アルコキシ、ハロ(C₁~C₄)アルキル、フェニル、または置換フェニルであり、

XはO、S、SO、SO₂、NR³、または

CR⁴R⁵(ここに、R⁴はH、(C₁~C₄)アルキ

ルまたは(C₁~C₄)アシルであり、R⁵およびR⁶はそれぞれ独立してH、(C₁~C₄)アシル、(C₁~C₄)アルキル、(C₁~C₄)アルケニルもしくはアルキニル、C≡N、またはOHであるか、またはR⁴およびR⁵は一緒になって炭素原子数4から6個の炭素環を形成するものである)であり、

Yは、単結合または炭素原子数1から6個のアルキレン鎖であり、アルキレン鎖の場合、これは炭素環を含んでいてもよく、かつ、O、NR³、S、SO、SO₂またはSiR⁷⁰R⁷¹(ここに、R⁷是前記と同意義であり、R⁷⁰およびR⁷¹はそれぞれ独立して(C₁~C₄)アルキル、分枝鎖状(C₁~C₄)アルキル、フェニル、または置換フェニルである)の中から選ばれるヘテロ原子を含んでいてもよく、さらにこれは(C₁~C₄)アルキル、(C₁~C₄)アルケニルもしくはアルキニル、分枝鎖状(C₁~C₄)アルキル、(C₁~C₄)シクロアルキルもしくはシクロアルケニル、ハロゲン、ヒドロキシまたはアセチルで置換されていてもよいアルキレン鎖であり、そして